

2018年4月10日

2018年ゴールデンウィーク(4/25~5/5)の旅行動向

日並びの良さもあり国内旅行人数、総旅行人数が過去最高に 総旅行消費額も1兆円を超える見込み

- ・国内旅行:利用宿泊施設では「旅館」が増加
- ・海外旅行:ヨーロッパの復調傾向が続き、アジアも人気

← (調査対象期間) →

4月										5月					
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(祝)	(振)	(火)	(水)	(祝)	(祝)	(祝)	(日)

JTBは、「ゴールデンウィーク(以下GW) <4月25日~5月5日の11日間>に、1泊以上の旅行に出かける人」の旅行動向の見通しをまとめました。

この調査は、1,200人から回答を得た旅行動向アンケート、JTBグループの販売状況、航空会社の予約状況、業界動向などから推計したもので、1969年に調査を開始して以来、今年で50回目となります。調査結果は以下の通りです。

(表1) 2018年GWの旅行人数、旅行平均費用、旅行消費額

	2018年GW		2017年GW	
	推計値	対前年比	実績推計値	対前年比
総旅行人数	2,443万人	+1.0%	2,418万人	+0.8%
国内旅行人数	2,384万人	+1.0%	2,360万人	+0.8%
海外旅行人数	58.5万人	+0.7%	58.1万人	▲1.2%
国内旅行平均費用	36,200円	+1.7%	35,600円	+1.1%
海外旅行平均費用	264,000円	+2.7%	257,000円	▲0.8%
総旅行消費額	10,174億円	+2.8%	9,895億円	+1.4%
国内旅行消費額	8,630億円	+2.7%	8,402億円	+2.0%
海外旅行消費額	1,544億円	+3.4%	1,493億円	▲2.0%

- * 旅行人数は延べ人数、平均費用は一人1回あたりの費用
- * 国内旅行平均費用は、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む
- * 海外旅行平均費用は、燃油サーチャージ・旅行先での交通費・宿泊費・食費を含む
- * 対前年比は小数点第二位以下を四捨五入

<社会経済環境と生活者の動き>

1. 旅行やレジャー消費をとりまく社会や経済の環境

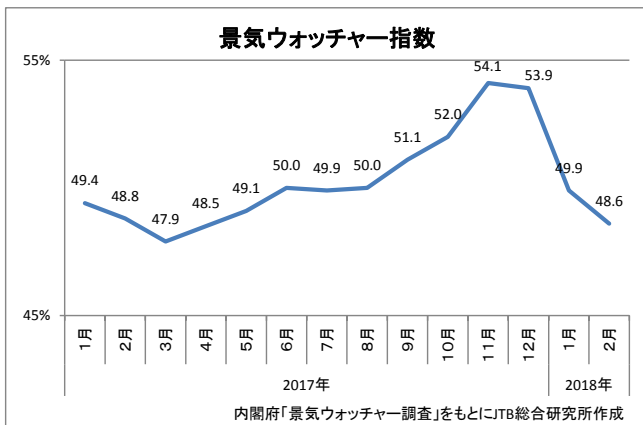
世界経済の回復に伴い、世界的に需要が増加し輸出が堅調に推移したことなどから、日本の上場企業の2018年3月期の最終利益は、過去最高を更新する見通しです。好調な企業業績を反映し、2018年春季労使交渉においては、主要企業で前年を上回るベースアップが相次ぎました。昨年のボーナスや雇用環境もよく、現役世代にとっては比較的好環境と言えます。

内閣府が発表した2月の「景気ウォッチャー指数(*1)」は3か月連続でマイナスとなりました。ガソリン代や燃料、食料品などの生活必需品が上昇したことや、冬季の天候不順による野菜の高騰などが家計を圧迫したことも背景となっています。4月からは、瓶ビール、たばこなど生活に身近な商品が値上げとなり、今後の生活への影響は懸念されますが、GWの旅行についてはピークシーズンで予約も早めであることから値上げの影響はそれほどないと思われます(図1、図2)。

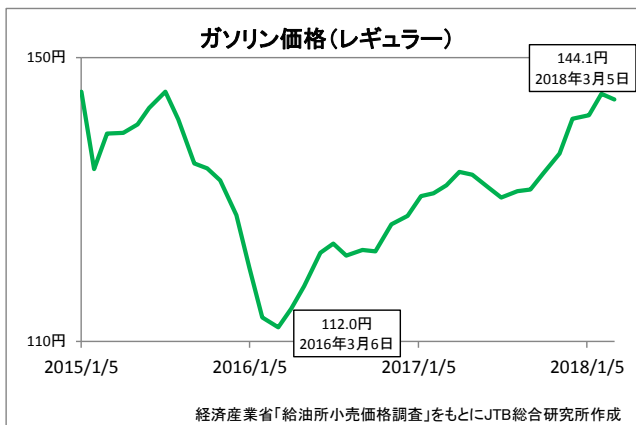
また、2009年から2011年にかけて実施されたエコポイントで購入した家電が買い替え時期をむかえ、今後は、電化製品の買い替え需要が旅行のライバルとなる可能性もあります。旅行動向アンケートにおける「今後1年間の旅行支出に関する意向」では、「支出を増やしたい(15.4%)」が0.6ポイント増加、「支出を減らしたい(27.3%)」も0.8ポイント増加しています。現役世代にとっては好環境でもシニアにとっては、老後の生活への不安などもあり、年間の支出についての考え方には世代や生活の状況によって差がありそうです(表2)。

(*1) タクシー運転手、小売店の店長など景気に敏感な人への調査結果を指数(DI)化したもの

(図1)景気ウォッチャー指数の推移



(図2)ガソリン価格の推移



(表2)今後1年間の旅行支出に対する意向(調査月ベース)

(単一回答)()は前年差

	今回(2018年3月)	前回(2017年3月)	前々回(2016年3月)
支出を増やしたい	15.4 (+0.6)	14.8 (▲0.2)	15.0 (▲1.7)
支出は同程度	54.8 (▲0.8)	55.6 (▲0.2)	55.8 (+1.6)
単価減らし回数増やす	9.1 (+0.9)	8.2 (▲1.6)	9.8 (+0.7)
単価増やし回数減らす	5.8 (+0.7)	5.1 (▲2.0)	7.1 (▲0.9)
単価も回数も同程度	39.9 (▲2.4)	42.3 (+3.4)	38.9 (+1.8)
支出を減らしたい	27.3 (+0.8)	26.5 (▲0.6)	27.1 (+0.9)

2. GWの旅行を取り巻く環境と生活者の旅行意向

今年のGWは、暦上では前半の4月28日（土）～4月30日（祝）の3連休と、5月3日（祝）～5月6日（日）の4連休があります。また、5月1日（火）、2日（水）を休めば9連休となる日並びです。

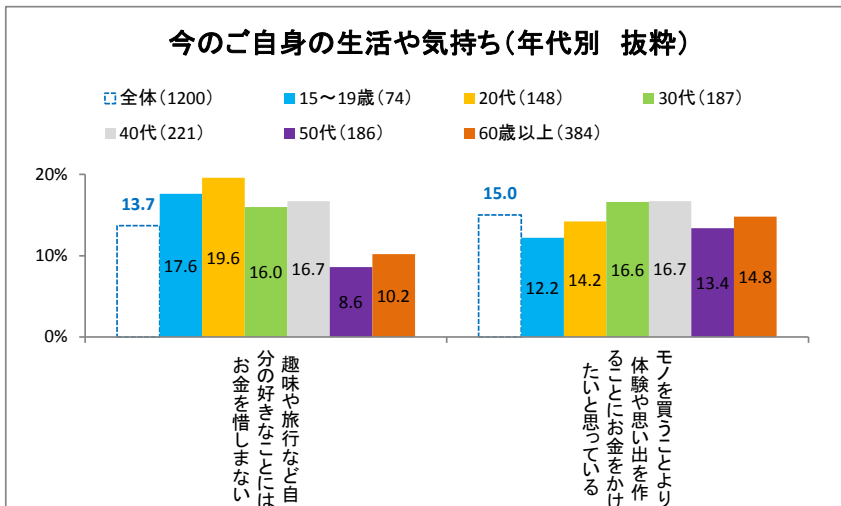
旅行動向アンケートでは、今年のGWに旅行に行く人は、昨年よりやや増加する結果となりました。旅行に行く予定の人に「昨年と今年のGWの違い」を聞いたところ、「収入」については、「昨年より収入が増えた（16.5%）」が「昨年より収入が減った（13.2%）」より多くなりました。「休暇の取得」に関しては、「昨年より長く休みが取れそうだ（11.0%）」が「昨年より休みが取れそうにない（7.7%）」より多くなりました。「昨年より長く休みが取れそうだ」は前年より0.1ポイント増加し、「昨年より休みが取れそうにない」は5.8ポイント減少しました。4月27日（金）は昨年2月から実施のプレミアムフライデーになりますが、「4月27日のプレミアムフライデーを利用して1日長く休む」と回答した人が昨年と比べると1.0ポイント増加しています（表3）。「旅行先」に関しては、「昨年より近距離の旅行に行く（11.0%）」が「昨年より遠距離の旅行に行く（8.8%）」より多くなり、日数は「昨年と同じ日数の旅行に行く（14.3%）」が最多でした。また、「今の生活や気持ち」について聞いたところ、「趣味や旅行など自分の好きなことにはお金を惜しまない」は、10代～40代で高く、「モノを買うことより体験や思い出を作ることにお金をかけたいと思っている」は30代、40代で高くなりました。昨年より収入が増え、休みも取れそうなので、旅行に行こうと考えている人が多いことがうかがわれます。

（表3）昨年と今年のGWの違い

（複数回答）

	%	対前年比
昨年より収入が増えた	16.5	+ 8.2
昨年より収入が減った	13.2	▲ 0.9
昨年より長く休みが取れそうだ	11.0	+ 0.1
昨年より休みが取れそうにない	7.7	▲ 5.8
昨年より近距離の旅行に行く	11.0	+ 2.7
昨年より遠距離の旅行に行く	8.8	+ 1.7
昨年と同じ日数の旅行に行く	14.3	▲ 1.7
昨年より旅行日数を増やす	4.9	▲ 1.5
昨年より旅行日数を減らす	4.4	▲ 0.7
4月27日のプレミアムフライデーはGWとは無関係	9.9	▲ 0.4
4月27日のプレミアムフライデーを利用して1日長く休む	1.6	+ 1.0
4月27日はGW前なので休めない	0.5	▲ 1.4
特に違いはない	18.7	▲ 14.6

（図3）今のご自身の生活や気持ち（年代別 抜粋）



<2018年GW旅行動向予測>

1. 海外旅行人数は、58.5万人(前年比+0.7%)、一人あたりの旅行平均費用は、264,000円(前年比+2.7%)と増加。出発日のピークは、5月3日(祝)、遠距離方面は4月28日(土)、29日(祝)も多い

2018年に入ってから日本人の出国者数は、1月は142万人(前年同月比+9.9%)、2月は139万人(同▲6.9%)でした。2月にマイナスとなった理由としては、今年は春節が2月(去年は1月)だったため中国本土や香港などからの訪日客が大きく伸び、航空座席が取りにくかったことも影響したと考えられます。1月までの出国者数は3か月連続で増加しています。原油高から燃油サーチャージが上昇していますが、為替相場は対米ドルに関しては円高で推移していることもあり、旅行意欲を妨げる要因にはなっていないようです(表4、表5)。

今年のGWは「3連休」+「4連休」で、人気のアジア方面に行きやすい日並びであることもあり、海外旅行人数は昨年より増加することが見込まれます。前年より燃油サーチャージが上がっていることや平日2日を休んで長距離の旅行に出かける人もいると思われることから、旅行平均費用も、264,000円(前年比+2.7%)と増加を予測します。

(表4) 為替相場(東京外国為替相場/T.T.S三菱東京UFJ銀行調べ) (単位:円)

基準日	1米ドル	1ユーロ	1英国ポンド	100韓国ウォン	1台湾ドル
2018年3月30日	107.24	132.02	152.84	10.19	3.67
2017年3月31日	113.19	121.29	144.08	10.24	3.70
2016年3月31日	113.68	129.20	165.92	10.06	3.49
2015年3月30日	120.26	131.18	181.39	11.02	3.81
2014年3月28日	103.06	141.76	173.59	9.77	3.01

(表5) 日本航空日本発方面別燃油サーチャージ(片道) (単位:円)

	2018年 4月	前年との差額	(参考)			
			2017年 4月	2016年 4月	2015年 4月	2014年 4月
韓国	500	+ 200	300	0	500	2,500
中国	2,500	+ 1,000	1,500	0	2,500	7,000
香港・台湾	2,500	+ 1,000	1,500	0	2,500	7,000
グアム、フィリピン・ベトナム	3,000	+ 1,000	2,000	0	3,000	7,000
タイ・マレーシア・シンガポール	4,500	+ 1,500	3,000	0	4,500	13,000
ハワイ・インドネシア・インド	6,000	+ 2,000	4,000	0	6,000	16,000
オセアニア・北米・ヨーロッパ	10,500	+ 3,500	7,000	0	10,500	25,000

※2018年2月1日発券分から5月31日発券分

出典: JAL プレスリリース

JTBの海外パッケージツアー「ルックJTB」の予約状況を見ると、出発日のピークは、近距離のアジアを中心に5月3日(祝)となり、米国本土や欧州などの遠距離は4月28日(土)、29日(祝)がピークになっています。人気の行き先は、ファミリーに人気のハワイ、近・中距離では台湾・シンガポールなどのアジア、遠距離では、イタリア・フランスなどの欧州となっています。

ヨーロッパ方面は、今年に入ってから航空会社の旅客輸送実績も前年を超えており、復調傾向が続いています。

2. 国内旅行人数は過去最高の 2,384 万人(前年比+1.0%)、国内旅行平均費用は 36,200 円(前年比+1.7%)。出発日のピークは、4 月 28 日(土)、5 月 3 日(祝)

旅行動向アンケートによると、「旅行日数」については、「1泊2日(42.8%)」が前年から0.2ポイント減少、「2泊3日(37.6%)」は前年から8.7ポイント増加しています。「3泊4日(13.3%)」も前年より0.5ポイント増加、「4泊5日(4.6%)」は1.1ポイント減少しています。アンケート調査の結果では、約半数の47.6%が「最終日は休日としたい」と回答しており、「4連休の最後の1日を休日とし、2泊3日で旅行へ出かけるパターンも多いと考えられます。

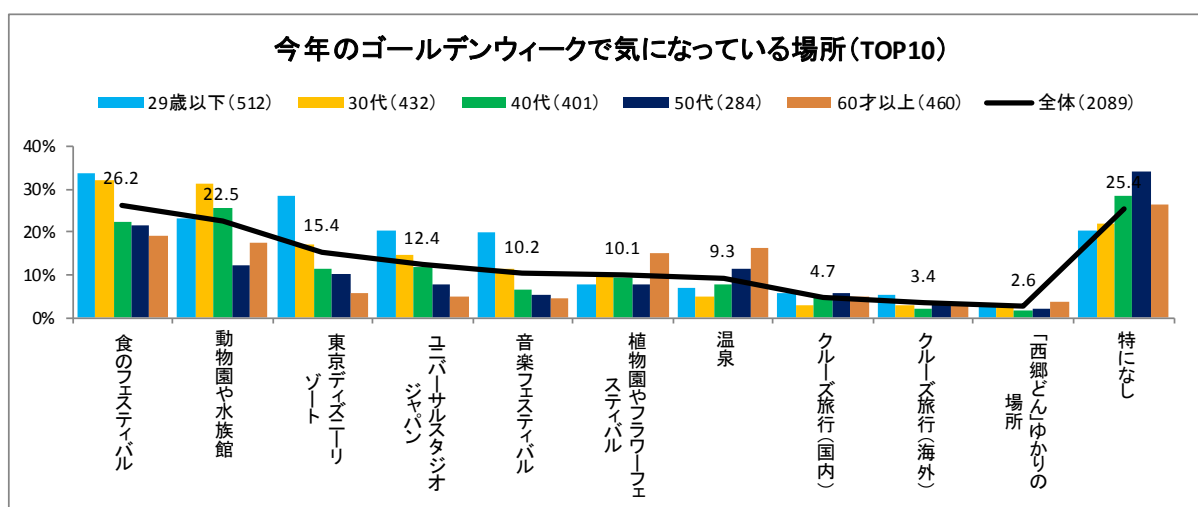
「旅行の目的」は「帰省、離れて暮らす家族と過ごす(25.3%)」が最多ですが、前年からは2.3ポイント減少しています。一方「温泉を楽しむ(9.9%)」「街歩きやショッピング(2.2%)」は前年からそれぞれ0.8ポイント、1.6ポイント増加しています。

「同行者」は、「子供連れ(中学生まで)(36.3%)」が1.0ポイント増加しています。「利用交通機関」については、「乗用車(73.4%)」が1.8ポイント増加し、「利用宿泊施設」については、前年と比べると「旅館」が5.8ポイント増加しています。また、「予定費用」(海外旅行含む)については、「2万円未満」が24.7%と最多ですが、「6万円未満(8.2%)」は昨年より3.1ポイント増加しています。旅行に関しては、シニアに関心が向きがちでしたが、若い人を中心に収入や休みの状況が良いことから、今年のゴールデンウィークは小さい子供連れの旅行も含め、若年層の旅行が増えそうです(表7、表8、表9、表10、表12、表13)。国内旅行については、人数・日数ともに増加し、国内旅行平均費用は36,200円(前年比+1.7%)と予測します。

JTBの国内パッケージツアー「エースJTB」の予約状況を見ると、出発日は、4月28日(土)、5月3日(祝)が多く、行き先は、東北や九州、中国四国などが人気となっています。日本の名旅館に泊まるプランも昨年と比べて予約が好調です。また、35周年を迎える東京ディズニーリゾート®や東京ミッドタウン日比谷などの新しい商業施設が増える東京・関東地区の予約が好調です。名古屋では、昨年オープンした『LEGOLAND® Japan』(レゴランド®ジャパン)の水族館「SEA LIFE」が4月15日に、オフィシャルホテルが4月28日にオープンします。関連商品については、東海地区を中心に予約が増えています。

また、JTB総合研究所が行ったインターネット調査で「今年のゴールデンウィークで気になっている場所」を聞いたところ、「食のフェスティバル」が最も多くなりました。動物園や水族館、テーマパークなど若者やファミリーが行きやすい場所が人気です。

<参考> インターネット調査 今年のゴールデンウィークで気になっている場所(TOP10) (複数回答)



出所: JTB 総合研究所 旅行基礎調査

<旅行動向アンケート調査方法>

調査実施期間:2018年3月2日～14日

調査対象: 全国15歳以上79歳までの男女個人

サンプル数: 1,200名

調査内容: 2018年4月25日から5月5日に実施する1泊以上の旅行
(海外旅行を含み、商用、業務等の出張旅行は除く)

調査方法: 全国200地点における調査員による質問用紙を使った個別訪問調査

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

JTB 広報室 03-5796-5833

(表6) 2018年GW(4/25~5/5 発)の海外旅行人数推計

(単位:千人)

	2018年 推計	対前年比	2017年 実績推計	対前年比
総数	585	+0.7%	581	▲ 1.2%
アジア合計	364	+0.6%	362	▲ 2.7%
韓国	88	▲4.3%	92	▲ 8.0%
中国	82	±0.0%	82	▲ 5.7%
香港	26	+4.0%	25	+4.2%
台湾	52	+2.0%	51	+2.0%
タイ	41	+2.5%	40	+2.6%
シンガポール	16	+6.7%	15	▲ 6.3%
インドネシア	15	±0.0%	15	±0.0%
マレーシア	10	±0.0%	10	▲ 9.1%
その他	34	+6.3%	32	+6.7%
北米州合計	142	▲ 1.4%	144	+2.1%
ハワイ	62	+1.6%	61	+3.4%
グアム・サイパン	23	▲ 8.0%	25	▲ 3.8%
米国本土	48	▲ 2.0%	49	+2.1%
カナダ	9	±0.0%	9	+12.5%
欧州合計	49	+8.9%	45	±0.0%
大洋州合計	19	±0.0%	19	±0.0%
オーストラリア	13	±0.0%	13	±0.0%
ニュージーランド	4	±0.0%	4	±0.0%
南太平洋	2	±0.0%	2	±0.0%
その他 (アフリカ・中近東・中南米)	11	±0.0%	11	±0.0%

(表7)利用宿泊施設(海外旅行を除く)

(複数回答)

	%	対前年
旅館	30.1	+ 5.8
ホテル	33.5	▲ 9.1
実家・知人宅	35.3	+ 0.8
民宿・ペンション	4.0	▲ 2.1
その他	4.6	+ 1.9

(表8)利用交通機関

(複数回答)

	%	対前年
乗用車	73.4	+ 1.8
鉄道	19.1	▲ 3.2
JR新幹線	13.9	▲ 1.0
JR在来線・私鉄	9.8	▲ 3.7
長距離バス	2.9	▲ 1.8
航空機	11.6	+ 0.1
従来の航空会社	10.4	▲ 1.1
LCC	1.2	+ 1.2
フェリー・船舶	0.0	▲ 1.4

(表9)今年のGWの予定費用(一人当たり)

(単一回答)

	%	対前年
1万円未満	15.9	+ 0.5
～2万円未満	24.7	▲ 0.3
～3万円未満	17.6	▲ 1.0
～4万円未満	8.8	+ 0.5
～5万円未満	9.3	▲ 0.3
～6万円未満	8.2	+ 3.1
～10万円未満	8.8	▲ 1.5
～15万円未満	3.8	+ 0.6
15万円以上	2.7	+ 0.1

(表10)同行者

(単一回答)

	%	対前年
家族連れ	68.7	▲ 2.5
子供連れ(中学生まで)	36.3	+ 1.0
夫婦のみ	17.6	▲ 1.6
その他(三世代・母娘を含む)	14.8	▲ 1.9
友人・知人	18.7	+ 2.7
恋人・パートナーと2人で	5.5	+ 1.0
友人と2～3人で	13.2	+ 1.7
グループ・団体	3.3	+ 0.1
ひとり	7.1	▲ 0.6

(表11)旅行先(海外旅行を除く)

(単一回答)

	%	対前年
北海道	6.9	▲ 0.5
東北	14.5	+ 1.0
関東	22.0	+ 4.4
甲信越	10.4	+ 0.9
東海	6.9	▲ 5.3
北陸	6.9	+ 1.5
近畿	9.8	▲ 2.4
中国・四国	11.0	+ 2.2
九州	10.4	+ 0.9
沖縄	1.2	▲ 2.9

(表 12) 旅行目的(上位 10 位)

(単一回答)		
	%	対前年
① 帰省、離れて暮らす家族と過ごす	25.3	▲ 2.3
② リラックスする、のんびりする	12.6	+ 0.5
③ 自然や風景を楽しむ	11.0	▲ 0.5
④ 家族と楽しく過ごす	10.4	+ 0.8
⑤ 温泉を楽しむ	9.9	+ 0.9
⑥ 食事を楽しむ、地域の味覚を味わう	7.1	▲ 1.8
⑦ テーマパークやレジャー施設	5.5	+ 0.4
⑧ 恋人・友人と楽しく過ごす	4.4	+ 0.5
⑨ 名所や史跡などを見る	3.8	± 0.0
⑩ 街歩きやショッピング	2.2	+ 1.6

(表 13) 旅行日数(海外旅行を除く)

(単一回答)		
	%	対前年
1泊2日	42.8	▲ 0.2
2泊3日	37.6	+ 8.7
3泊4日	13.3	+ 0.5
4泊5日	4.6	▲ 1.1
5泊6日	1.2	▲ 1.4
6泊7日	0.0	± 0.0
7泊8日	0.6	▲ 0.1
8泊以上	0.0	▲ 3.8

(表 14) 旅行に行かない理由

(複数回答)		
	%	対前年
① GWは混雑する	37.2	+ 1.0
② 家で のんびりしたい	28.7	+ 3.1
③ GWは旅行費用が高い	22.7	+ 4.2
④ 他の時期に旅行に出かける	17.3	▲ 2.0
⑤ 仕事などで休暇がとれない	15.8	▲ 1.9
⑥ なんとなく行く気にならないから	13.1	+ 3.0
⑦ 家族・友人等と休日が合わない	12.3	+ 0.6
⑧ 日曜・祝日が休みでない仕事なので	11.4	▲ 1.8
⑨ 旅行以外にやりたいことがある	10.1	+ 1.3
⑩ 家庭の事情で家を離れられない	9.6	+ 1.1
⑪ 景気が悪いので支出を控える	8.5	▲ 0.3
⑫ 特に旅行したい場所がない	8.3	+ 1.2
⑬ 訪日外国人増え国内観光地が混雑する	2.6	+ 0.8
⑭ 訪日外国人増え国内宿泊施設予約困難	2.1	+ 0.2

(表 15) 今後 1 年間の旅行支出に対する意向 (調査月ベース) * 表2再掲

(単一回答) ()は前年差

	今回(2018年3月)	前回(2017年3月)	前々回(2016年3月)
支出を増やしたい	15.4 (+0.6)	14.8 (▲0.2)	15.0 (▲1.7)
支出は同程度	54.8 (▲0.8)	55.6 (▲0.2)	55.8 (+1.6)
単価減らし回数増やす	9.1 (+0.9)	8.2 (▲1.6)	9.8 (+0.7)
単価増やし回数減らす	5.8 (+0.7)	5.1 (▲2.0)	7.1 (▲0.9)
単価も回数も同程度	39.9 (▲2.4)	42.3 (+3.4)	38.9 (+1.8)
支出を減らしたい	27.3 (+0.8)	26.5 (▲0.6)	27.1 (+0.9)

* (表 9~13) (表 15) は無回答があるため合計100%にはなりません。

(表 16) 「ゴールデンウィークの旅行動向」推計数値(2001年～)の推移

	旅行人数(万人)			旅行平均費用(円)		総消費額(億円)		
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	総数	国内	海外
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2000年 (4/27～5/7)	2,150.4	2,094.0	56.4	40,433	228,558	9,756	8,467	1,289
	+4.2%	+4.1%	+6.0%	▲0.5%	+7.1%	+4.8%	+3.6%	+13.6%
2001年 (4/26～5/6)	2,206.5	2,152.6	53.9	41,767	239,072	10,280	8,991	1,289
	+2.6%	+2.8%	▲4.4%	+3.3%	+4.6%	+5.4%	+6.2%	±0.0%
2002年 (4/25～5/5)	2,169.3	2,120.3	49.0	39,595	246,005	9,600	8,395	1,205
	▲1.7%	▲1.5%	▲9.1%	▲5.2%	+2.9%	▲6.6%	▲6.6%	▲6.5%
2003年 (4/24～5/4)	2,090.7	2,067.3	23.4	38,983	254,369	8,654	8,059	595
	▲3.6%	▲2.5%	▲52.2%	▲1.5%	+3.4%	▲9.9%	▲4.0%	▲50.6%
2004年 (4/24～5/4)	2,169.8	2,116.9	52.9	39,334	245,720	9,627	8,327	1,300
	+3.8%	+2.4%	+126.1%	+0.9%	▲3.4%	+11.2%	+3.3%	+118.5%
2005年 (4/27～5/7)	2,175.5	2,121.1	54.4	38,890	253,180	9,626	8,249	1,377
	+0.3%	+0.2%	+2.8%	▲1.1%	+3.0%	±0.0%	▲0.9%	+5.9%
2006年 (4/26～5/6)	2,201.6	2,146.6	55.0	38,993	250,584	9,748	8,370	1,378
	+1.2%	+1.2%	+1.1%	+0.3%	▲1.0%	+1.3%	+1.5%	+0.1%
2007年 (4/25～5/5)	2,202.3	2,148.7	53.6	39,100	251,700	9,750	8,401	1,349
	±0.0%	+0.1%	▲2.5%	+0.3%	+0.4%	±0.0%	+0.4%	▲2.1%
2008年 (4/25～5/5)	2,125.4	2,080.0	45.4	39,100	254,700	9,289	8,133	1,156
	▲3.5%	▲3.2%	▲15.3%	±0.0%	+1.2%	▲4.7%	▲3.2%	▲14.3%
2009年 (4/25～5/5)	2,178.6	2,129.9	48.7	36,900	213,100	8,897	7,859	1,038
	+2.5%	+2.4%	+7.3%	▲5.6%	▲16.3%	▲4.2%	▲3.4%	▲10.2%
2010年 (4/24～5/4)	2,220.9	2,169.2	51.7	36,100	224,400	8,991	7,831	1,160
	+1.9%	+1.8%	+6.2%	▲2.2%	+5.3%	+1.1%	▲0.4%	+11.8%
2011年 (4/24～5/4)	2,035.0	1,981.3	53.7	33,800	209,600	7,823	6,697	1,126
	▲8.4%	▲8.7%	+3.9%	▲6.4%	▲6.6%	▲13.0%	▲14.5%	▲2.9%
2012年 (4/25～5/5)	2,260.8	2,201.2	59.6	34,900	210,000	8,934	7,682	1,252
	+11.1%	+11.1%	+11.0%	+3.3%	+0.2%	+14.2%	+14.7%	+11.2%
2013年 (4/25～5/5)	2,331.7	2,278.2	53.5	35,900	230,800	9,414	8,179	1,235
	+3.1%	+3.5%	▲10.2%	+2.9%	+9.9%	+5.4%	+6.5%	▲1.4%
2014年 (4/25～5/5)	2,318.3	2,267.9	50.4	34,400	249,500	9,060	7,802	1,258
	▲0.6%	▲0.5%	▲5.8%	▲4.2%	+8.1%	▲3.8%	▲4.6%	+1.9%
2015年 (4/25～5/5)	2,389.0	2,335.9	53.1	35,800	263,000	9,683	8,363	1,320
	+3.0%	+3.0%	+5.4%	+4.1%	+5.4%	+6.9%	+7.2%	+4.9%
2016年 (4/25～5/5)	2,400.0	2,341.0	58.8	35,200	259,000	9,763	8,240	1,523
	+0.5%	+0.2%	+10.7%	▲1.7%	▲1.5%	+0.8%	▲1.5%	+15.4%
2017年 (4/25～5/5)	2,418.0	2,360.0	58.1	35,600	257,000	9,895	8,402	1,493
	+0.8%	+0.8%	▲1.2%	+1.1%	▲0.8%	+1.4%	+2.0%	▲2.0%
2018年 (4/25～5/5)	2,443.0	2,384.0	58.5	36,200	264,000	10,174	8,630	1,544
	+1.0%	+1.0%	+0.7%	+1.7%	+2.7%	+2.8%	+2.7%	+3.4%

* 調査開始は1969年。海外旅行人数は実績値。

* 平均費用については、1993年より推計。2003年以前は動向結果により前年の発表数値から一部修正。

* 国内旅行人数は推計値で、2003年以前は動向結果により前年の発表数値から一部修正。